

《担当者名》 高橋由紀 t-yuki@hoku-iryo-u.ac.jp 池森康裕 下山美由紀

【概要】

利用者の居住環境に応じた支援体制のあり方を理解するため、多様な在宅福祉サービスにおいて介護実習を行う。

【学修目標】

1. 地域との関りや、地域での生活を支える施設・機関の役割を学び、地域における生活支援技術を理解することができる。
2. 家族の関りや家族支援について理解することができる。
3. 様々な利用者の生活像、障がい者像を理解することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1週目) 3週目	高齢者や障がい児者の在宅福祉サービス（施設、事業所等）	<p>施設の特徴、利用者の特徴、職員の職種、施設機能の特徴、日課、週間スケジュール、年間行事などについて把握する。</p> <p>基本的な生活援助を行いながら、コミュニケーションの取り方などの生活支援技術を実践する</p> <p>利用者の居住環境における支援体制を学ぶ</p> <p>利用者の個性を尊重した自立支援の在り方を理解できる</p> <p>地域の社会資源について理解し連携について学ぶ</p> <p>地域における生活支援を実践的に学ぶ</p> <p>記録の機能と目的について理解し利用者の観察や関りをもとに記録し、報告することができる</p>	高橋 池森 下山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習評価表30%、実習の記録、カンファレンス、課題・計画など70%とし、これらの項目を統合し評価する。

【教科書】

特に使用しない。

【参考書】

介護福祉士養成講座編集委員会（編）：最新・介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習 第2版』中央法規 2022
 介護福祉士養成講座編集委員会編集：最新・介護福祉士養成講座6『生活支援技術 第2版』中央法規 2022

【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護実習」に該当する。

【学修の準備】

生活支援技術の教科書を読んでおくこと（60分）

実習に必要な技術を練習しておくこと（60分）

毎日の実習を振り返り、学んだことや課題について実習日誌にて整理すること（90分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1.人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3.社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門職領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている

DP4.保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている

【実務経験】

高橋由紀（介護福祉士） 池森康裕（介護福祉士・社会福祉士） 下山美由紀（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護・看護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。